



薬剤材料を混ぜ合わせる装置の試作品(OEM製品)

0.6mmまでの極薄鉄板加工技術を 小型電気自動車で具現化

株式会社淀川製作所

大阪
21

ISO 9001

<http://www.yodogawa-ss.com/>



このデザインを元にEVカーを製作



EVカーの天井部

Company Profile

株式会社淀川製作所

住 所 / 〒570-0005
守口市八雲中町1-13-6
創 業 / 昭和36年
設 立 / 昭和48年
資本金 / 1,000万円
従業員 / 16名
T E L / 06-6909-1770
F A X / 06-6908-5735

■主な事業内容

精密金属板金部品、プレス板金部品、金属切削部品等の試作・加工・製作

■主な取引先

産業機器メーカー、家電・通信機器メーカー、自動車生産設備分野、建築業界



当社のセールスポイント

板金加工と機械加工とがからむ
金属部品を試作・製作し
匠の技を發揮します。



代表取締役
小倉 庸敬さん

通信機器部品から新幹線や航空機、建築金物の部品まで。業種を問わない総合力で、様々な金属部品の試作・製作に短納期で応えています。板金加工、機械加工に関しては、技術力の問題で仕事を断ったことはありません。また、自社製EVカーの製作プロジェクトを立ち上げ、試行錯誤の日々です。匠の技を形にしようと社員一同張り切っています。

関西の中小企業4社で 小型電気自動車を製作

小型電気自動車(EVカー)を町工場で開発する。そんな夢を抱いて淀川製作所の小倉社長は、関西の中小企業4社で「あつぱれEVプロジェクト」を立ち上げた。このプロジェクトは、大阪府地場産業等総合活性化補助金を受けての実施。同社は金属加工・部品製造とプロジェクトリーダーを担当し、平成22年3月を目処に試作車完成を目指している。

電池はリチウムイオンを使用し、最高速度は40km。狭い道路でも女性や高齢者が運転できることを想定した3輪カート型。「漆塗りや和紙を取り入れた工芸品のイメージ」という独特のデザインは、店舗デザインを専門とする二級建築士が担当している。車体を軽くするため、加工の難度は上がるが、「市場で評価されるには、持つている技術力の見せ方が大切。難しい形のものを作ることで

同業者を驚かせたい」と話す。産業機器や航空機、建築部品などさまざまな単品加工を受注

同社は元々、板金加工と機械加工とが複雑にからむ部品の試作・製作を請け負う製作所である。指先に乗る小さなものから、産業機器、航空機や建築金物の部品まで、あらゆる金属加工を受注している。「廃盤になった自転車や車の部品など、市販にはない単品ばかり。ものづくりの駆け込み寺です」と小倉社長は笑う。とりわけ溶接には卓越したスキルを持ち、0.6mmまでの鉄板を加工。技術のキモは、極薄鉄板を燃えない程度に熱して溶接を可能にする、電圧と加工時間の微調整にある。熟練した職人のみが發揮できる匠の技だ。社内非対応部品についても、国内外の独自ネットワークを活用。業種を問わない総合力を買われ、魚の解体機やシート溶接機などOEMも手掛けてきた。

初の自社ブランドで メーカーを目指す

今回の「あつぱれ1号」は初の自社ブランドだ。チャレンジングな精神は、「自社を総合メカトロニクスメーカーに育てたい」という志から、そして「不況にあえぐ大阪の街を活気づけたい」という信念から生まれている。

「社内に特別な設備があるわけではなく、基本技術とガッツで取り組んでいけるだけ。電気自動車も造ることができれば、他にもやってみようという町工場が現れるはずだ」と。量産化も視野に入れ、観光地での貸しマイクローカーとしてリリースする計画を予定。「徹底的にやるか、やらないか。やらなければそこで終わり」と攻めの経営を貫く小倉社長の言葉は力強い。従業員数16人の淀川製作所には、不可能を可能に変えるパワーがあふれている。